





ブックトーク『月』 中3年対象 6月5日 1校時…5組 3校時…2組、6月6日 4組（山本先生実施） 6月7日 1校時…3組 3校時…1組			
	原稿	本	生徒の反応
1	<p>月の勉強をしたということで、月に関する本を集めてみました。</p> <p>月は昔から人々を魅了してきました。と書いてありましたね。</p> <p>どんなふうに魅了されてきたのかということはこの本から紹介します。</p> <p>図書館では、『ちはやふる』が人気ですが、百人一首には、百首の短歌の中で、月が詠まれた歌が12首あります。</p> <p>自然の美しさをたたえたものから、恋の歌まで様々です。少し冷たい月の輝きや、雲に隠れる姿など、うまくはいかない恋と重ねてうたった人が多かったのでしょうか。</p> <p>一つ恋の歌を読んでみますね。</p> <p>「いま来むと 言いしばかりに 長月の 有明の月を 待ちいでつるかな」 (簡単に解説)</p> <p>1000年以上も昔から、人々は月に思いをはせていたのですね。</p>		
2	<p>夜見上げれば、空にその姿を見つけることができる月ですが、新月から満月になり次の新月を迎えるまで、毎日形を変えていきますね。それを「月の満ち欠け」という言い方をしますが、この2冊には、月の満ち欠けの仕組みに加え、月にまつわるいろいろなことが載っています。</p> <p>「月のきほん」は教科書にも紹介がありましたが、月とはどういうものか、月の満ち欠けのしくみや軌道についての理科的な内容から、暦や言い伝えまで幅広く載っています。教科書の文章にも書いてあった月を作る実験もここに載っています。詳しく知りたい人はこの本で見てください。</p> <p>一方こちらの「月の満ち欠け絵本」はもう少し内容を易しくした絵本です。易しくしたといっても、満ち欠けのメカニズムや言い伝えなどが、たくさん載っています。</p> <p>たとえば、三日月に願い事をする、月が満ちて望みが叶えられると信じられていて、戦国時代の武将の兜や国旗に使われている、とか、満月を見るとき、低い位置にある時と、空高く上がった時は大きさが違うように見えるけど、五円玉の穴から満月を見ると、同じ大きさだとか書いてあります。</p> <p>月の満ち欠けと海の潮の動きは大きく関係をしています。どうして満潮や干潮といった海の水が大きく動くのかなども、書いてあります。</p> <p>サンゴは満月の夜に産卵します。ウミガメも満月の夜にたまごから羽化するそうです。人間</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴの産卵は知っているが、ウミガメは知らない様子。</li> <li>・赤ちゃんの話は知っている人もいた。</li> </ul>

	<p>の赤ちゃんの出産も、満月や新月の日が多いといわれています。 地球に住む生き物の生活にも様々な影響を与えています。</p>		
3	<p>さて話は少し変わって、月を見て変身するエンターテインメントがありますね。オオカミ男です。オオカミ男の起源の話はいろんなところにあるようですが、ヨーロッパとかアメリカなどに多いようです。オオカミ男は、今では映画などでもよく見かけますね。</p> <p>この本「トワイライト」にも、オオカミ男がでてきます。映画になったので見た人もいるでしょう。人間の女の子ベラとヴァンパイアのエドワードの種族を超えた禁断の恋の話です。この女の子の知り合いの男の子ジェイコブがオオカミに変身します。実はジェイコブもベラを好きなので、三角関係になったりもします。ベラを取り合っただけでなくて、ヴァンパイアとオオカミ族の因縁の関係なども出てきますよ。外国の小説なので、やりとりがハリウッド映画～という感じがします。</p> <p>ちなみに、トワイライトのベラとエドワードが好きな曲としてドビュッシーの「月の光」も出てきます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オオカミ男！」と答えてくれた。</li> <li>・トワイライトは読んでいる生徒も多かった。</li> <li>・ジェイコブという名前を出すとなぜか笑いが起きる。なぜ？</li> </ul> <p>→生徒にそのミドルネームを持った子がいる。後半2クラスは名前を伏せて紹介。</p>
4	<p>月の映画といえば、アポロ13があります。トムハンクス（ダヴィンチコード）やケビンベーコン（X-MEN）がでています。ちょっと昔の映画で、皆さんが生まれる前に公開されたものようですが、知っていますか？</p> <p>この映画の本があったのもってきました。これは実際にあった話の映画です。</p> <p>かつてアメリカとソ連（いまはロシアですね）は宇宙開発で競い合っていました。アポロ11号の月面着陸で一步先に出たアメリカは、アポロ13号も月に向かって飛ばします。しかしこの13号は途中爆発事故を起こして、月に行くどころか地球への帰還も危うくなります。世界中の人たち、それから敵対していたソ連も宇宙飛行士たちの無事を祈りました。</p> <p>クルーの3人を生きて帰すために、様々な難題をひとつひとつクリアしていきます。</p> <p>宇宙へ行くということがどんなに大変か、どんなに危険があるか、世界の宇宙開発がどんなふうに進んできたか知ることができます。</p> <p>今は日本人の宇宙飛行士も宇宙へ行って素晴らしい仕事をしてきていますね。高い知識と的確な判断力、どんな危機的状況でも常に平常心でいるための冷静さ、いろんな国の人と仲良くできる協調性、宇宙という未知の空間に耐えられる健康な体、条件は厳しく、だれでもできるものではありませんが、皆さんの中にも将来 JAXA や NASA で働く人がでてくるといいなあと思います。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれていないので見たことある人はいない。</li> <li>・宇宙開発の話をする時、男の子たちの視線が集まる。</li> </ul>

5	<p>月の話で忘れたらいけないのは、やはり「かぐや姫」ですね。かぐや姫は「竹取物語」に出てくる美しい月のお姫様の話です。1年生の時に学習したそうですね。</p> <p>竹から生まれた女の子はおじいさんおばあさんに育てられ、美しく成長します。そして5人の偉い人から結婚を申し込まれます。しかし、かぐや姫は無理難題を押し付けてこれを断ります。この5人の失敗談から、「捨て鉢」とか「甲斐なし」などの言葉ができたという由来も書いてあります。</p> <p>そして十五夜の夜に月から来た使者とともに月に帰っていきます。</p> <p>帰るとき、帝に不死の薬を渡していきました。でも帝は、かぐや姫のいないこの世で不死の体を手に入れても意味がありませんと歌を詠んで手紙にしたため、日本で一番高い山の頂上でこの薬とともに燃やすよう命令しました。その薬を燃やした山が、富士山という名前になったそうです。</p> <p>竹取物語は9世紀後半に成立したといわれる日本最古の物語です。この本のようにわかりやすく訳されたものもありますので、読んでみましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹取物語は知っていてうなずく生徒もいる。</li> <li>・竹取物語の冒頭を暗唱したら、きちんと覚えている生徒もいた。</li> </ul>
6	<p>最後に、月の神話の話を。夜空に輝く星にはたくさんの神話があります。この本には月の神話も載っていますので紹介します。月の女神アルテミスは狩りの名人です。同じく狩りの名人オリオンといっしょに狩りに出かけたりして二人は恋人のようでした。しかしその様子をあまり好ましく思っていなかったアルテミスの兄アポロンの策略によって、アルテミスはオリオンを殺してしまいます。</p> <p>悲しみにくれたアルテミスはオリオンを星座にして、いつでも会いに行けるようにしたといわれています。</p> <p>オリオン座にはもう一つ神話があります。オリオンは狩りが上手で、たくましい体で、顔がイケメンだったので、お酒を飲んだ時に、それを自慢していました。そのため、神々の怒りを買って、サソリの毒で殺されてしまいます。サソリとオリオンはともに星座になりましたが、さそり座とオリオン座は一緒に夜空に上ることはありません。さそり座が出てくるとオリオン座が沈み、さそり座が沈んでからオリオン座が出てくるようになったといわれています。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これ借りてはいけませんか？とすぐに言ってくる生徒がいた。</li> <li>・オリオンとサソリの話のほうに興味を持っていた。</li> </ul>
	<p>月を取り扱った本はたくさんあります。昔から空にあった月は、人々にとって身近で興味のある存在だったのでしょう。</p> <p>さがせばいくらでも出てきます。読んでみてください。</p>		

#### <生徒感想>

- ・月について興味がわいた。星座の話が面白かった。
- ・かぐや姫の、富士山の話は知らなかった。
- ・トワイライトが面白そうだった。
- ・難しい話でよく分からなかった。
- ・アポロ13も読んでみたいと思った。
- ・NASAに行ってみたいと思った。
- ・月を詠んだ歌が12首のあるなんてびっくりした。知っている歌が紹介されたので、読んでみたいと思った。
- ・他の星座の話も聞きたくなりました。
- ・(三日月に願い事をするとうとうと信じられていた話を聞いて)昔の人はオチャメな所もあったんだな、自分も願い事してみようと思った。
- ・説明的なものばかりかと思っていたら、小説や古典の紹介もあってびっくりした。

#### <実施後の感想>

詰め込みすぎたような感もありましたが、それだけ月に関する本が多く、自分でも調べていく中でいろいろ知ることができて、楽しかった。

「私が面白いと思ったところ」は紹介していてもその雰囲気が出るらしく、生徒も「面白いと思った」と書いてくれていた。自分が楽しんだものを紹介することが大切だと実感した。